

56 卷 3 号 (2021 年 5 月 20 日発行)

締切：2020 年 12 月 20 日

特集：昨今のヘリウムの需要と供給状況を踏まえた回収・代替技術

昨今ヘリウム不足が危惧されてきたが、価格高騰、入手性などの現在起こっているヘリウム危機は深刻で、長期化することも予想されている。2019 年 12 月 20 日には 6 学会 2 研究機関連絡協議会 39 研究機関が緊急共同声明「ヘリウムリサイクル社会を目指して」を報道機関に向けて発表し、ヘリウムリサイクルに関する方向性を示した。

低温工学・超電導学会でも、ヘリウムを利用している機関が多く、本危機は対岸の火事ではない。本企画では、ヘリウム危機の現状や、今後のヘリウムの利用方法を考える一助とするためヘリウムの回収や代替技術について紹介する。